

北高森自治会だより

主な記事

- 納涼まつり中止（三年連続）
- 防犯パトロール・消火器点検
- 敬老会は三年連続で中止に
- 体育祭十月九日で準備中



令和四年度「納涼まつり」は
残念ながら中止しました。

六月には新型コロナウイルス感染症拡大状況が下火になって来ていましたので、例年実施していましたが、「盆踊り大会」の内容を縮小し「納涼まつり」という名称で実施の予定でした。しかし、七月の中旬から伊勢原市内においても、一日百人を超える感染者の増加が続き、三週間で千五百人も増加するという状況です。今年二月のピーク時をすでに超えてしまいました。北高森自治会は、五月より二回の実行委員会を開催し、実施の有無やできる方法を検討して、七月二十五日に最終判断の予定でしたが、十一月も早く基準としていた市内累計感染者数の六千百人を越えてしまいましたので、七月十六日に「中止の緊急回覧」を発行しました。大変残念ですが、皆様の健康と安全を優先しました。

以下は、実施予定だった主な内容となります。中止を零と考えず、今後へ向けて検討を重ねてきたことを将来に生かすために、記録として残します。

一 日時 令和四年八月七日
二 場所 高森神社
三 時間 午後四時半～七時
四 主な内容
・ 開会セレモニー
・ 納涼太鼓（大人と子ども）
・ 昔の遊び
・ 的ごま、寿命ごま
・ けん玉
・ 竹馬散歩
・ お手玉・おはじき
・ わなげ 米つり
・ 新鮮地場野菜販売
・ ビンゴでゲット
・ 抽選会
・ 閉会セレモニー

五 開催の主な趣旨

- ・ 子どもと大人のふれあい
- ・ 子ども会解散にともなう文化の継承と場づくり
- ・ 太鼓の練習・披露
- ・ 地域の経済交流
- ・ 新鮮地場野菜販売
- ・ おたのしみビンゴ、抽選会等

六 その他

市長等外部の招待無し
照明無し 入口出口一つ
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

防犯パトロール
消火器点検を実施
五月十四日（土）



防災指導協力員二名を新規委嘱

「北高森防災指導協力員」の新規委嘱を行いました。

本年度は、前自治会長の重田芳乃さん（赤坂）と前防犯担当理事の木佐貫規夫さん（四ツ谷）の二名に委嘱を行いました。

「防災指導協力員制度」とは、自主防災力を強化・継続させる目的で、平二十九年総会で自主防災会規約を改正し、運用を開始したものです。

防災指導協力員は、基本的に任期はなく、防災に関して専門知識・技術を有する方、住民情報に詳しい方又は市の防災リーダー研修受講者等の中から、自主防災会会長が委嘱することになっていきます。委嘱者は、二名を加え一名辞退の十五名の方々となりました。

〔順不同、敬称省略〕

- ・森 武（宮下）
- ・谷川 廣幸（四ツ谷）
- ・斎藤 英典（吾妻入）
- ・田中 広吉（了の谷戸）
- ・岩松 公平（了の谷戸）
- ・斎藤 昇（了の谷戸）
- ・石川 謙二（鳴瀬）
- ・栢沼 満（赤坂）
- ・山崎 利幸（四ツ谷）
- ・今井 登（赤坂）
- ・関野 裕（宮下）



家具職人今泉さんにベンチの修理をお願いし完成しました。足の補強と座板の補修。デザインは今泉さんのオリジナル。搬出入は薄さんのご協力による。

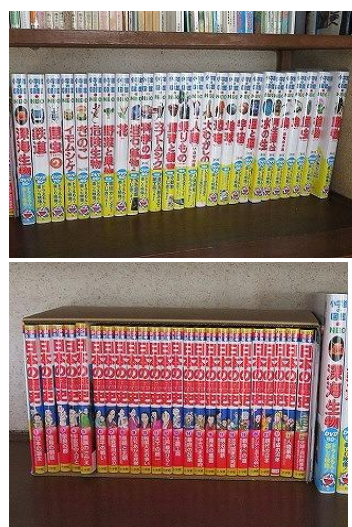
ベンチの補強・修理が完了しました



（左）重田様 （右）木佐貫 様

- ・野辺 愛子（四ツ谷）
- ・高梨 徳久（宮下）
- ・重田 芳乃（赤坂）
- ・木佐貫 規夫（四ツ谷）

児童用図書が寄贈されました



緑子連より解散にともない高森台児童館と高森児童館に児童用図書が寄贈されました。「日本の歴史」と「ドラエモンの図鑑」（動物・植物・昆虫・宇宙・岩石等）

社会福祉協議会防災用品の助成により購入しました



非常用トイレで使う500個

編集後記

安倍元首相が参議院選挙演説中に、銃弾に倒れご逝去されました。慎んで哀悼の誠を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。暴力に屈しない民主主義の国を目指さなくてはならないと思いました。意見や立場が違ってもお互いを尊重し共生する社会が求められています。また、梅雨明けから急に気温が上昇し三十五度を超える日が増えました。くれぐれも水分や休息をとり熱中症にならないよう気を付けていただきたいと思います。

第七波による、新型コロナウイルス感染症が拡大し猛威を振るっています。一日も早く、安心して各行事が出来る日々が来ることを祈ります。

ここに八月号を発行いたしましたのでご覧願います。

発行責任者 細谷 毅義



七月五日（火）青少年課によりシルバーさん二人が児童館の土手の草刈をしてくださいました。